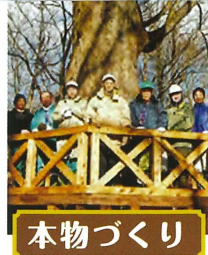


海外での緑化活動

和漢薬研究所だより



本物づくり

地球温暖化や都市・生活型公害、廃棄物の増大など、通常の事業活動や日常生活に起因する環境問題が注目されて久しい時代です。世界の森林資源は、木材、食糧、燃料、薬などの生産に加えて、気候変動対策など様々な機能を有しています。しかし、世界の森林は毎年520万ヘクタール、日本の面積の約14%に等しい規模で減少し続けているといわれています。森林保全や森林の持続的利用は人類存続のための永遠の課題です。

「自然薬グループ」は「法人の森林」、「長寿の森林募金」というかたちで社会貢献を行っておりますが、(公財)国際緑化推進セン



ミャンマー環境天然資源大臣の現地視察



(株)和漢薬研究所の植栽看板

ター(通称JIFPRO)の活動へも協賛し、東南アジアでの植林援助、熱帯林造成基金に1995年から協力しています。

【ミャンマー「ラトケ・テトランカン・コミュニティフォレスト」造成事業】2016年2月~2020年3月

ミャンマー連邦共和国の要請により、同国中部の乾燥地帯「マングレー管区ニャンウー地区」での住民の生活向上・環境改善を目的として4年余にわたり実施されます。(株)和漢薬研究所と他の6企業・1団体の寄附金が合算されて活用されます。

表紙写真 ミニ解説

オオカラスウリ (*Trichosanthes bracteata* Voigt)

収蔵の晩秋を迎え殺風景となった私たちの薬草苑《神薬才花苑》で存在感を示しているのはオオカラスウリの実です。写真は20年ほど前に中国華南中医药大学から寄贈されたオオカラスウリの実で、カラスウリやキカラスウリに比べて大ぶりで、大きいものは直径10cm以上もあり、朱色に染まった様子はとても綺麗です。

実を割ってみると、黒色の粘液で包み込まれた種子が多数あり、粘液は甘苦い味で、決して旨いとはいえません。熟した種子を天日乾燥すれば生薬の栝楼仁、皮を同様に処理すれば栝楼皮、根の外皮を取り去って輪切りにし天日乾燥すれば栝楼根、根から取り出した澱粉を天花粉といいます。栝楼仁は慢性咳嗽の要薬で、乾燥したものを焙烙で炒って2~3カ月蜂蜜に漬け込み、適時服用すると慢性咳嗽や嚥下困難による誤嚥性肺炎の予防に効果があります。天花粉は、水分をよく吸い取ることから汗止めに応用され、皮膚の炎症を除き潤す働きがあるのであせも予防や赤い皮膚炎症がある場合にとてもよく効きます。漢方では『神農本草経』に中品として収められ、栝楼根は栝楼桂枝湯、柴胡清肝湯などに、また栝楼仁は柴陷湯や小陷胸湯に配合されています。皆様も晩秋の野山で出会うことができるかもしれません。

[自然薬師 野崎康弘]